

深まる、距離を超えた絆  
第3回沼田南中学校気仙沼交流事業  
8月17日(日)・18日(月)

本町通り育成会連合会が主催したツアーに南中生徒や関係者ら約50人近くが参加し、東日本大震災で被災した気仙沼市を訪れました。ツアー初日、日中は復興の進む市内の様子やカキ養殖場などを見学し、夜は震災当時から変わりゆく市内の様子について現地の人から講話を受けました。翌日は地元大島中学校生徒たちとの交流会が行われ、学校生活などについて会話を弾ませたほか、気仙沼市役所に生徒自ら集めた義援金を届けました。参加した生徒は「何かしたいと思いながら1人では何もできませんでした。このツアーに参加することで思いを形にできて嬉しいです」と笑顔で話してくれました。



ぬまたフオートやんぽ

にぎわう晩夏の老神温泉郷  
第12回とねふるさと風のまつり  
8月24日(日)

会場は大勢の住民や観光客らでにぎわい、たくさんのアトラクションやステージ発表が行われたほか、みこしが温泉街を威勢よく練り歩きました。フィナーレでは、太鼓團蛇陣の勇壮な太鼓演奏を皮切りに、約3,000発の鮮やかな花火が晩夏の夜空を彩りました。



市ホームページでも、イベント結果などを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

YOROZU  
よろずとーく 89  
TALK

2014沼田観光親善大使  
増田 真衣さん  
Mai Masuda

沼田を新鮮に感じながら、笑顔で頑張ります。各会場で声を掛けてください



7月8日、沼田商工会議所青年部主催「沼田観光親善大使」選考会が行われ、3人の大使が誕生した。増田真衣さんは、そのうちの1人。この一年間で観光キャンペーンやイベントに参加し沼田を県内外にPRしていく。「決まった時は、友達から冗談交じりに冷やかされました。みなかみ出身なので、沼田をあまり知らなくて。沼田の観光や歴史を勉強中です。今は、沼田をとても新鮮に感じています」

すでに8月の沼田まつりで大使としての初仕事を終えたばかり。当日はピンクの法被をまとい、天狗みこしの先頭で伝統ある夏祭りを華やかに盛り上げた。



沼田まつりで活躍する3人。左から増田さん、真下さん、小岸さん

「最初、天狗さんの前で3人でワッショイと音頭をとったのですが、初めてで全然息が合わなくて。でも市役所に戻る頃にはバッチリでした。やはり夏祭りを見るだけでなく参加しないと、途中で担がせてもらいましたが、担ぎ手の熱気が凄かったですね。明るく元気な姿に誰もが親しみを覚える増田さん。大使3人の中での自分の役割を聞いた。「私が一番年下なので2人を見習いながら、素直にありのままの自分を出していきたいです。観光親善大使として私の楽しむ姿が観光PRにつながればと思っています。各会場で見かけたら、ぜひ声を掛けてくださいね」

近いうちに食事会をする3人。今後の仲の良い3人組の活躍ぶりに注目が集まる。次回は、9月13日開催の最先端花火ショー「沼田花火大会」に登場予定だ。

われら いきいき サークル 249

白沢ベアーズ(会員数15人)

代表者 中澤 和也さん  
連絡先090-2414-0206(小黒幹史さん)



野球をきっかけとして礼儀正しい子どもに育つよう、昭和55年に発足した少年野球チームです。体力強化をモットーに、楽しんで野球ができるよう、火・木・土・日曜日の週4回白沢農民広場で練習を行っています。野球以外にも、ディズニーランドへのバス旅行やバーベキュー、クリスマス会などのイベントを行っています。現在、共に活動する部員を募集しています。興味のある人は、見学や入部体験などに、ぜひ、お越しください。